



Special thanks



自己分析や適職診断、ビジネス基礎知識まで第一線で活躍する講師の先生が務めてくださいました。

講座の内容もさることながら、先生方のあたたかな励ましがどれほど勇気づけてくれたことでしょうか！また、企業・地域で活動する団体の皆様には、職業体験先としてあたたかく受け入れていただき、スキル面だけでなく「子育てしながら働く生活」の実現に少しでも近づくための挑戦を後押ししてくださいました。

事業の趣旨にご理解いただきご協力いただきました皆さまには、スタッフ一同深く感謝申し上げます。

ここからのページでは、講師の先生方はじめ受け入れにご協力いただいた方からのメッセージを掲載します。ぜひご覧ください。





SPECIAL THANKS



キャリアコンサルタント

鹿又 麻衣子先生

プログラムへのご参加お疲れさまでした。日頃自分のことだけでなく家族のことも考えてお忙しいみなさん、限られた時間の中で講座やインターンに参加していただき、自分に合った働き方や強みを見出していく姿は本当に輝いていました。新しい一歩を踏み出すにあたり、このプログラムで経験されたことが役に立ち、働くことが楽しみになって頂けたらとてもうれしいです。これからみなさんがもっともっと自分らしく、輝きますように！



コーチング研修会社ドリームフィールド代表

阿部 侑生先生

私は日頃から「マナーは人の為ならぬ、自分のためのものである」と考えています。何故ならば、思いやりの気持ちを持って相手に接すると気持ちのいい会話生まれ、「好かれる人」になるからです。皆様の笑顔は世界を変えます。これから益々多くの方をハッピーにしてください。そして自分を愛することもお忘れなく。マナーに大切なことは、あなたの中にある「愛情」という隠し味なのです。



SPECIAL THANKS



特定非営利活動法人放課後子どもクラブ
Bremen(ブレーメン)代表

寶 鈴子さん

放課後子どもクラブBremenは女性の就労を応援しています。インターンのお話があり、女性の自立の応援ができるのならと喜んでお受けすることにしました。今回来てくださったのは16歳の女性でした。高校には行かず仕事に就きたいということでした。会ってみるととてもしっかりした方で、仕事の内容を把握して頑張ろうという気持ちに溢れていました。子ども達も瞬間的に彼女を受け入れ、たちまちファンになっていました。

今では定期的に通ってボランティアをしていただいています。この経験を生かして放課後児童クラブ支援員などの資格をとって活躍してくれるようにと願っています。



特定非営利活動法人
ベビースマイル石巻代表

荒木 裕美さん

子育てひろばのスタッフとして体験して頂きました。ひろばは親子が安心して過ごせる居場所として開放しています。育児をする中で“誰かと話したい”“ちょっと疲れた”という方もいらっしゃいます。佐藤さんはママ達の話に耳を傾け、寄り添い自然と関わることができていました。スタッフ一同、佐藤さんの姿を見て初心にかえるいい機会になりました！職業体験、お疲れ様でした。





SPECIAL THANKS



認定NPO法人Switch スイッチ・イシノマキ
石巻NOTE 石巻統括マネージャー

田口 雄太さん

私たちの団体NPO法人Switchは日頃から心に不調を抱える方の就労支援を行っており、地域企業の理解の上で活動できています。そんな中、地域の団体が就労支援の一環でインターン先を探しているとのお話を聞き、是非にと受け入れさせていただきました。受け入れてみる事で、改めて私たちの活動に理解を頂いている企業の気持ちを感じる事が出来ました。また、私たちが活動をどのように伝えていくと良いかを再考する機会になりました。インターン生には当法人での経験を通して、自身を大切にしながら働く事が素敵だなと感じて頂けたら幸いです。



特定非営利活動法人にじいろクレヨン
事務局

吉田 和美さん

今回は女性活躍支援プログラム“green”のインターン受入れをさせていただきました。

インターンでいらしていただいた米谷さんはご自身の子育て経験を活かし、子育て支援の仕事に興味を持たれていました。体調管理の難しい時期と重なり、想定されていた日数の勤務は叶いませんでしたが幼いお子さんを育てながら就労することの大変さを実感されたとお聴きしました。にじいろひろばをご利用される親御さんもまた、同じように感じている方がとても多いのです。女性が子育てをしながら働くことの難しさについては、より一層の社会の支援と理解が必要だと感じています。プログラムに参加された皆様の今後のご活躍を応援しております。



特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク
事務局次長

柏原 としこさん

やっぺすでは、3名のインターン生を受け入れさせていただきました。受入れはインターン生の得意とすることや、やりたいと思っていることを知り受け入れ側の業務の中で、それらを生かすために、何が必要か(作業内容や指導に必要な情報など)を考える機会になりました。

雇用側が働き手に望む条件と、雇用される側の希望を擦り合わせやすくなり、お互いのギャップが軽減されることで、よりよい雇用の形に繋がるのではと思いました。

創業支援（インキュベーション）事業

自分にできることで地域に貢献したいと震災後活動をはじめた女性たち。「何かはじめたい」「創業したいがどうしたらいいかわからない」「同じように起業した女性とつながりをもちたい」というニーズに応え本事業では、働きたい女性をサポートするインターンシップと並行し、創業した女性をサポートするインキュベーション事業を展開しました。

次からのページでは、女性のための創業支援について掲載します。ぜひ、ご覧ください。



2019
9/14
土

池上彰氏特別講演会「大人の教養」 ～立ち止まって考える力とは～



▲熱心に話す池上彰氏

震災後立ち上がった起業家をはじめ地域で活動している方の学びを深める場として、メディアでおなじみのジャーナリスト池上彰氏をお迎えし特別講演会を開催しました。

講演のテーマは、著書である「大人の教養」についてで、宗教や文化の違いから起こる問題を例に上げ、これらのことから学ぶべきは、他者と対立することではなく共通点を探ること、そして自分自身を知ることだと教えていただきました。

続いて池上氏は、大人の教養とは【学び続けること】だとし、人としても起業家としても特に重要なことだと学びました。

質疑応答では、次々に手が上がりました。人工知能が発達し人間の知能を超えることで人々の生活に大きな変化を及ぼすとされる「シンギュラリティ」は起こりうるかとの質問では、「AIでは置き換えることができない仕事がある、これからは人材育成が大切となる」とお話しされていました。

今回の池上氏の貴重な講演と質問の機会は、会場を訪れたみなさんにとって学び多き一日となりました。



▲熱心に聞き入る参加者のみなさん。



▲県外をはじめ多くの方が参加しました。

出会い・つながり・学び合う 【異業種交流会】



講演会の後、震災後起業した方をはじめ地域で活動する方が業種を超えて出会い、お互いの活動を知りつなげる機会として異業種交流会を開催しました。

当日は希望者を募り商品やサービスを知っていただく出展ブースを設け、15の業種で総勢25名の方が参加されました。自己紹介からはじまり、軽食を囲みながら交流をスタート。それぞれに工夫を凝らした出展ブースでは、名刺交換だけでなくお互いの仕事や思いに共感が生まれ会話が弾みました。

途中から池上先生も参加してくださり、ひとりひとり写真撮影をした後は、起業家のみなさんにエールを送ってくださいました。

講演に加え交流会で、学びとつながりを深める特別な時間となりました。



▲震災後起業した方をはじめ25名の方にご参加いただきました。



▲足ふみ健康法「楽健法ふみふみ」の体験コーナーでは、その心地よさを実感。



▲手作り雑貨「FreeArtTomo」では、さまざまな作品を紹介。



▲一般社団法人コミュニティスペースうみねこのブースでは、いちじく葉茶やアクセサリーを紹介されていました。

創業支援事業では、創業されている方やこれからお考えの女性がスキルアップを図るためのセミナーを計3回開催しました。

1 2019 10/1 火 心に響く「プレゼンテーション」セミナー



講師

あべ ゆき
阿部 侑生先生

コーチング研修会社
ドリームフィールド代表
コミュニケーションコー
チングの第一人者

事業を伝える際に必要な「伝える力」について学びました。簡潔に要点がわかり説得力も生み出す効果的なプレゼンテーションの手法について教えていただき、参加者もプレゼンテーションに挑戦しました。阿部先生は「一番大切なのは心の在り方です」とし、聴いてくださる方への感謝の気持ちを忘れず、笑顔で周りを巻き込むことで自分にとってよりよい場を創ることができるとアドバイスいただきました。



▲10名の方にご参加いただきました。

2 2019 11/20 水 選ばれる「写真の撮り方」セミナー ～伝わる写真～



講師

すだ ひでき
須田 秀樹先生

フォトハウス秀
フォトグラファーとして県
内で活躍中

人の心を捉える写真撮影の基本からSNSで「いいね！」が増える写真の撮り方を教えていただきました。写真は背景・光・構図が重要だが、コツを掴むことでスマートフォンでも簡単に魅せる写真が撮れることを学びました。後半は、参加者が撮影した写真をプロジェクターに映し、ひとりひとりにアドバイスいただき、質問にも丁寧に応対していただきました。



▲13名の方にご参加いただきました。

2019
3月12/6
金

思いが伝わる・届く・成果が出る 「ホームページ作成」セミナー



講師

はっとり ゆうき
服部 雄樹先生

服部制作室代表
ウェブデザイナーとして活躍中

簡単にホームページを作成できるサービス【JIMDO】を使い、ホームページを正しく活用する秘訣を教えてくださいました。

まずは、SNSとの違いやホームページの役割について解説。そのほか、身近にヒントを見つける思考法やマーケティング手法を取り入れたホームページを制作することで、販促・集客など経営戦略に役立てることができると学びました。

服部先生は、面白いコンテンツを作っていれば、自ずと検索結果もついてくると説明。参加された方はカスタマイズ方法を熱心に聞き入っていました。



▲熱心に学ぶ参加者たち。

専門家による創業相談窓口開設



創業後や創業するうえで抱えるお悩みに対応するため、各種専門家の先生による相談窓口を毎月開設しました。実施回数22回で延べ30人以上の方にご利用いただきました。利用された方のなかには、新たに起業された方もおります。

悩みや困りごとをひとりで抱えず、その分野の専門家の先生に相談することで視野が広がり、可能性や目標もさらに大きく発展することを目的としています。

【相談員紹介】



日野 一樹 氏
日野一樹起業支援センター代表



佐々木 亮之 氏
筑波大学
産業経済学部長兼教授



阿部 典生 氏
コーティング研究会
副会長兼代表理事



鈴木 潤 氏
コーティング研究会
代表理事



兼子 敦彦 氏
株式会社アットワン
代表取締役社長



- 【無料相談ができる5つのこと】
- 各種書類作成サポート
 - 経営計画、経営計画/作成金、融資の申請書、計画書、販売書、その他
 - 経営者研修
 - 税務相談（節税対策相談含む）
 - キャリアデザイン
 - アウトプット（紙書として）
- ※その他、ビジネスカードやビジネスカードの更新のやりかたなど、相談内容にも対応いたします。



● インターンシップ導入のプロセスとポイント ●

このガイドは、はじめてインターンをするための基本的な準備と運営法についてまとめたものです。皆様の活動のお役に立ち、また成功に向けて活用いただけると幸いです。

全体の流れ

1 事前準備

Step 1

インターン者の力を存分に発揮させ、就職につなげるためには、最大限の準備が必要となります。それをサポートするためにも体制をしっかりと整えましょう。

2 託児手配

Step 2

講座や中長期間のインターンを支えていただく大切な協力者となります。お子さんの体調不良での休みなど想定されるので、事前に細かく打ち合わせして協力を依頼するのが望ましいです。

3 受け入れ企業・団体募集

Step 3

インターン者を受け入れてもらえる企業や地域で活動する団体を探します。趣旨や目的をしっかりと理解していただき、企業や団体における人手不足解消につながるよう協力体制を構築しましょう。

子育て女性だからこそ即戦力になる!

インターンと聞くと学生と思われがちですがそんなことはありません!

子育て中の女性は、社会経験や子育て経験があります。これらの経験やスキルは、さまざまな業種で即戦力につながると捉えることができます。

特に、人手不足が問題となっている福祉事業などでは、女性が持つ多様なチカラを活かせる仕事がたくさんあります。

● インターンシップ導入のプロセスとポイント ●

4 講座実施

Step 4

インターン前の導入として、ビジネスに関わる講座を実施することが有効です。空白のある方でもインターンへのハードルを下げるだけでなく、モチベーションアップにもつながります。事前に説明をすることで小さな不安を解消しましょう！

5 インターンシップ実施

Step 5

計画や準備を十分にしているも、最初から最後まで問題なく実施できるとは限りません。子どもの体調不良での欠席などは、子育て女性なら必ずぶつかる壁です。しかし、それは参加者も受け入れ側も成長する機会でもあります。どうやって壁を乗り越えていけるか、適切なフォローが重要です。

6 ふりかえり

Step 6

終了後の振り返りは、参加者にとっては勿論ですが受け入れ企業にとっても大きな学びをもたらします。貴重な外部の意見や新しい視点を得る場でもあり、人材育成の貴重なノウハウになります。



① 準備(10か月前～)

ポイント

各種手配と準備を進めていきます

活動計画が決まり、実際に手配を進めていく段階です。得意分野を生かし役割を決め、進み具合を共有しモレのないように進めていきましょう。

STEP① 講座の内容を決める ～どんな内容の講座が求められているかなど話し合しましょう～

check



- ・開催の目的や参加対象者をもとに、求められる講座を想定し内容を決めていきましょう。
- ・実施の曜日や時間帯、託児の有無や参加費についても話し合しましょう。対象によって時間帯や託児スタッフを依頼するかが変わってきますのでしっかり練りこみましょう。
- ・事業の内容を理解し、希望に沿った講座内容を実施してくれる講師を探し、連絡を取りましょう。

STEP② 講師と打ち合わせをする ～開催の主旨や対象者を説明し、細かな内容を打ち合わせ、決定しましょう～

check



- ・講座をどのようなものにしたいか講師と打ち合わせをしていきます。細かく話をしていきましょう！
- ・講師のスケジュールと調整し、日程を確定していきます。
- ・各市町村担当課へ申請します。許可が下りると、PRなどに役立ちます。(申請書はP38に掲載)

STEP③ 会場を予約する ～まずは、電話で予約できるか確認し、施設の利用規約に従い利用申請をしましょう～

check



- ・会場予約は講座時間に準備を含め、前後1時間プラスし予約します。託児も用意する場合は、託児用の部屋もあわせて予約します。
- ・駐車場付きの会場を探しておくとな参加者が利用しやすいです。

STEP④ チラシをつくる ～わかりやすいチラシをつくりましょう～

check



- ・日程・場所・参加費・内容・問い合わせ先は必ず盛り込みます。画像やイラストを配置すると、視覚的にも分かりやすくなります。
- ・配布先もリスト化しておくとな、チラシが出来上がってからスムーズに配布できます。

STEP⑤ 説明会の実施 ～プログラムの内容をひろく説明できる機会を設けます～

check



- ・講座や職業体験、託児施設の有無や時間などについて丁寧に説明します。
- ・エントリーシートを準備し、説明会参加者の情報も書いてもらいましょう。参加動機や職務経験などを把握できるようにしておきましょう。

STEP⑥ 参加者を集める ～完成したチラシを関係機関に設置してもらいましょう～

check



- ・ホームページやライン@、Twitter、facebook、Instagram等も利用し情報を発信して参加を呼びかけましょう。
- ・設置していただける施設やお店に連絡後、チラシを持参します。
- ・石巻市役所4階記者クラブへチラシを持ち込むと各機関へ配布されます。

STEP⑦ オリエンテーションの実施 ～不明点を解消する機会としましょう～

check



- ・参加が決めた方へ、参加するうえでの誓約や託児利用の案内などをおこないます。スムーズに講座、職業体験へ進めるようにするため、不安や疑問はその都度解消していけるよう、参加者目線もとても大切です。(誓約書はP38に掲載)

② 託児手配(10ヵ月前～)

ポイント

受け入れ先探しと準備を進めていきます

実際に託児所、保育所を探します。
進み具合を共有しモレのないように進めていきましょう。

STEP① 託児所、保育所を探す

check



- ・事業の内容を理解し、受け入れしてくれる託児所、保育所を探しましょう。
(TEL→直接訪問し説明)

STEP② 調整

check



- ・受け入れ可能な人数、期間など一人一人調整しましょう。

STEP③ 情報を伝える

check



- ・決定したらお母さんとお子さんの情報を受け入れ先に伝えましょう。(後日お母さん本人が託児施設に行き、直接先生とのやり取りがあります。)
- ・個人情報やアレルギーの有無等も必ず先生に伝えてもらいましょう。
- ・利用開始日、利用時間、利用期間なども参加者と先生と連携を取ります。

STEP④ 預け入れスタート

check



- ・預け入れがスタートしてからは、参加者と託児施設とのやりとりとなります。
 - ・託児の当日キャンセルの連絡は、担当者からか、参加者本人からか決めておくといいです。
- ※託児施設は他のお子さんもあり、プライバシー保護のため写真撮影はしていません。

【今回ご協力いただいた託児先】

石巻市家庭教育支援チーム 石巻市教育委員会生涯学習課 ☎0225-95-1111
ハピネス保育園へびた/ハピネス保育園南境 ☎0225-25-7136

【その他】

石巻市ファミリーサポートセンター ☎ 0225-23-7407



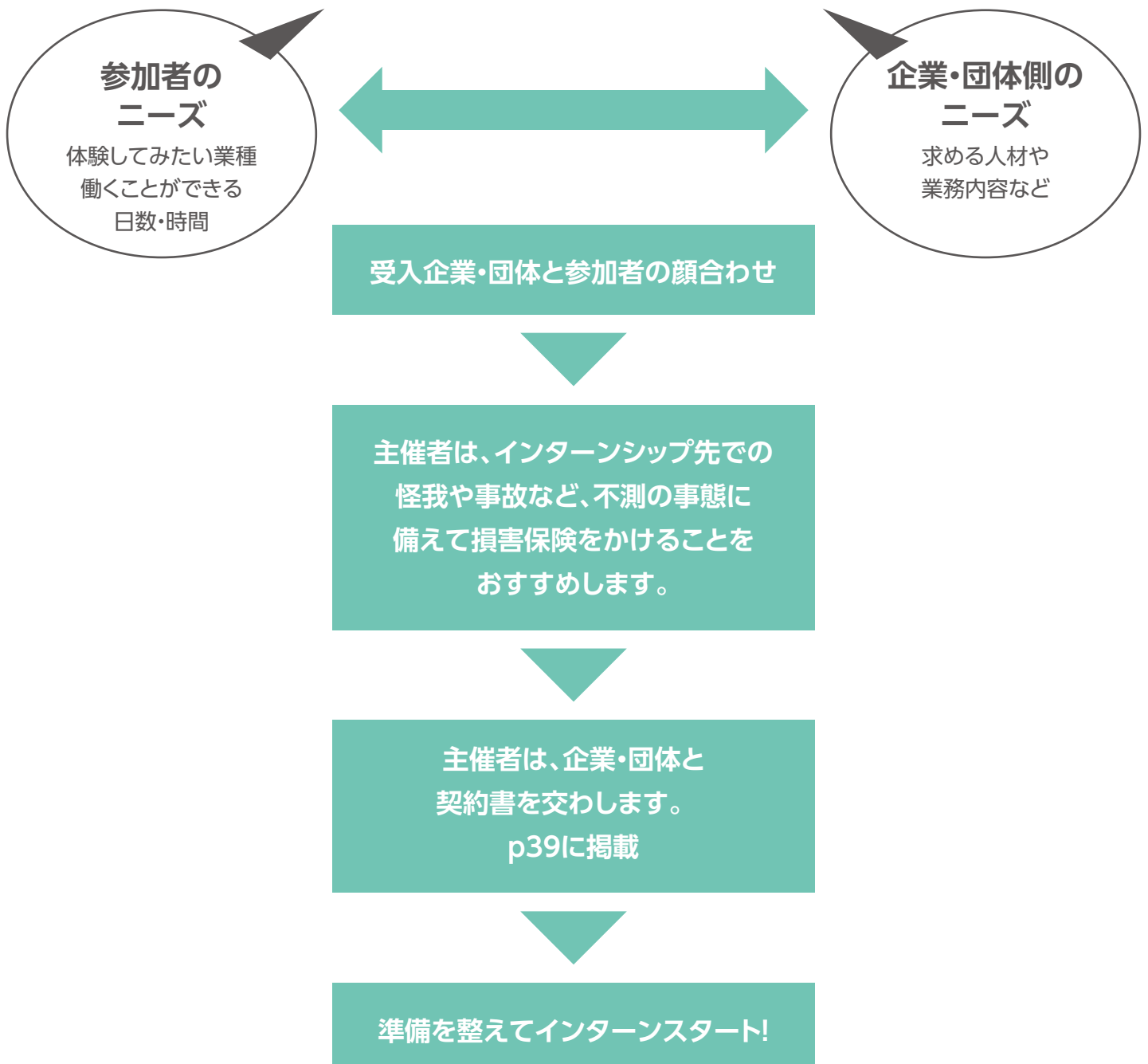
③ 受け入れ企業・団体の募集とマッチング(8か月前～)

ポイント

趣旨・目的の合致

インターンを受け入れることで企業側の課題解消につながるよう提案し、趣旨目的を丁寧に説明することで協力を得られるようにします。
受け入れ側が求めるニーズとインターン者が求めるニーズのマッチングを図りましょう。

受入れ企業とインターン者のマッチング



4 講座実施

ポイント

おもてなしの心でお迎えしましょう

いよいよ開催当日を迎えました。段取りが7割といわれるように、これまでの準備がしっかりできていると当日の運営は安心です。当日の突発的なトラブルや変更など充分対応できるだけの体制をとっておくことも大切です。

STEP① 会場設営 ～会場の机・イス・準備物を設置しましょう～

check



※設置前の会場を写真に残しておくとお片付けしやすいです。

- ・当日のレイアウトについて、講師と事前に打ち合わせしておくといでしょう。
- ・事前打ち合わせのとおり、会場のレイアウトをセッティングしておきます。
- ・マイク、スピーカー等の音響機材やプロジェクターは早めにセッティングし、確認しておきましょう。
- ・資料とペンを机に並べておきます。
- ・お茶や、お菓子なども並べておきましょう。
- ・受付で使用する名簿、つり銭、領収書、託児スタッフへの謝金を確認します。
- ・託児で使用する名簿、おもちゃ、消毒用スプレー、ティッシュ、養生テープ、油性ペン、布団セット、抱っこ紐などは、託児の部屋にセッティングします。

STEP② 受付 ～参加者受付をしましょう～

check



- ・名簿をチェックします。
- ・参加費を徴収し、領収書をお渡しします。つり銭、参加費の管理には十分注意しましょう。
- ・お席へ誘導します。

STEP③ 講座スタート ～講座の内容を記録し、写真を撮りましょう～

check



- ・司会者は講座の様子を撮影することを必ずアナウンスし、了承を得ましょう。
- ・講座の様子を写真に撮ります。
- ・講師に補助がいるようならその都度サポートできるように、司会者の他にもスタッフがいないといでしょう。
- ・講座中サポートが必要な参加者がいないか常に気を配りましょう。終了後にはアンケートを記入してもらいましょう。

STEP④ 片付け ～会場を片付け、会場費の清算を済ませましょう～

check



- ・会場をもとのとおりに戻します。
- ・会場の利用規約に基づき精算をします。
- ・託児スタッフへ謝金をお渡しし、領収書にサインをいただきます。
- ・託児スタッフと情報を共有しておく、次回の託児の預け入れがスムーズです。
- ・託児セットは持ち帰ってから清掃、消毒、クリーニングに出すとよいでしょう。
- ・公共施設や、個人から借りた託児荷物がありましたら返却しましょう。

⑤ インターン実施(期間中)

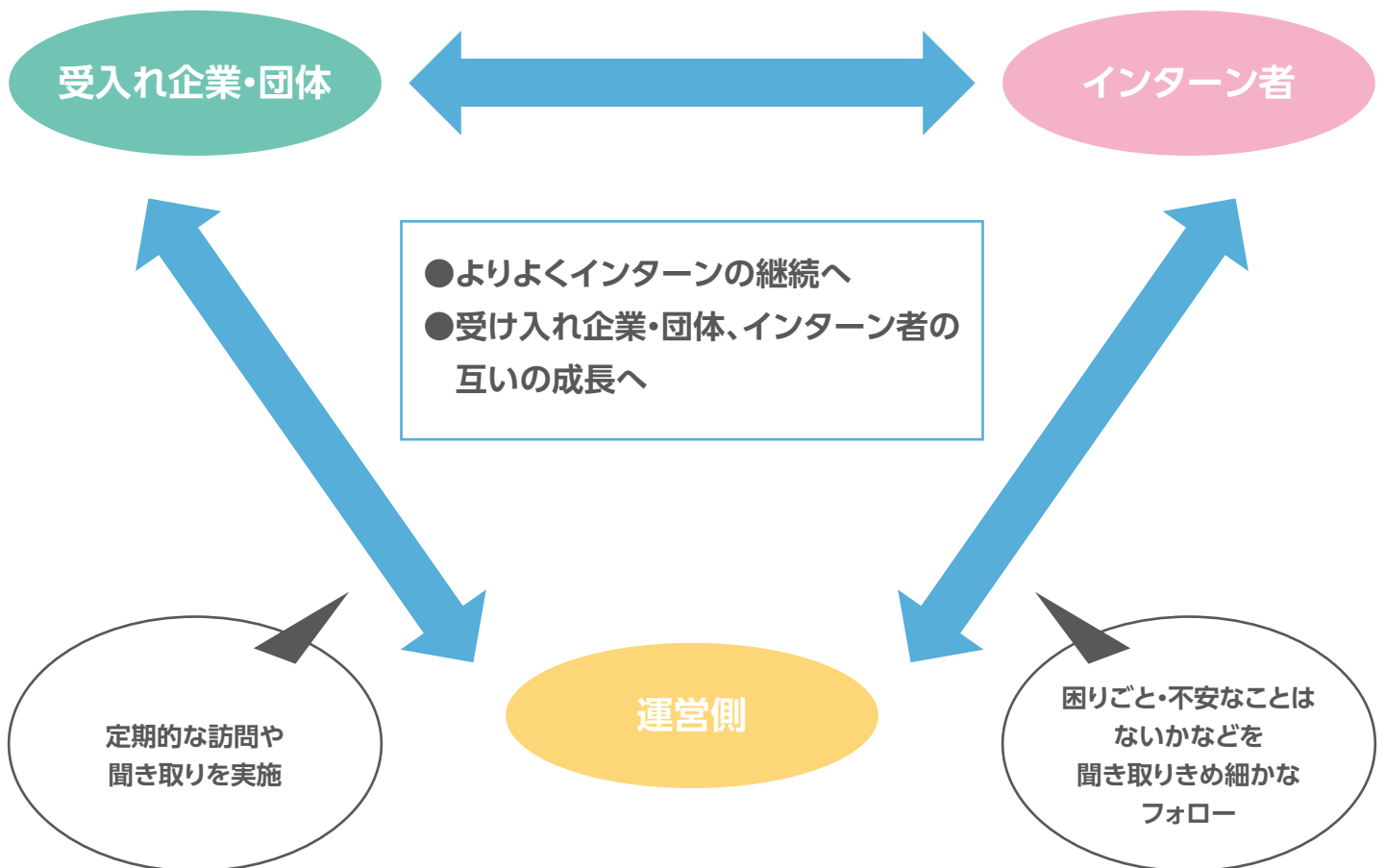
ポイント

きめ細かなフォロー

多くの方が、期間中に壁にぶつかりモチベーションが低下したり悩んだりします。この壁を乗り越え、成功体験をとおしてステップアップできるようきめ細かなフォローが重要です。

日報など記録の活用

インターン者が、日々の気づきや学びを記録することで業務の理解を深めるだけでなく、振り返りの材料として活かすことができます。



日報記録例

- 勤務日時
- 業務内容
- タイムライン
- 感想・気づき

活動日報	
事業所名	担当者
勤務日時	令和元年 月 日 勤務時間 時 分 ~ 時 分(休養 分)
タイムライン	10:00~12:00 業務内容 12:00~13:00 昼食 13:00~14:00 ▲▲の準備
業務内容	資料作成ー ○○は必要な資料をパソコンで作成した。 ▲▲準備ー▲▲は必要な準備で、会場を調整した。
感想・気づき	資料作成では、「パソコンを扱い○○の資料を作成した。わからないところは、担当の○○さんに教えてもらった。作成完了まではいかなかったので○○までには作成した。 ▲▲の準備に必要な作業をこなすことができた。

6 ふりかえり

ポイント

今後へ向けて

活動を振り返ることは、今後の方向性を考えるうえでとても有効です。複数でおこなうことで、多くの視点が入り入れられ、インターン者にとっても実りあるものになります。

STEP① アイスブレイク

check



- ・集まった人を和ませ緊張を解くことで、コミュニケーションを取りやすい雰囲気を作ります。振り返りの目的を達成するために、積極的に関わってもらえるよう働きかけます。

STEP② 個人ワーク

check



- ・参加しようと思った動機
- ・インターンシップで行った業務・出会った人・印象に残ったこと
- ・体験したことで得られたこと・学んだこと

STEP③ グループワーク

check



- ・個人ワークで書き出したことを全体で共有します。互いの気づきや学びを知ることで新たな発見につながる場合があります。

STEP④ 今後の指標を設定する

check



- ・これまでの経験を踏まえ、これから取り組んでみたいこと、始めてみたいことをできるだけ具体的に期限を決めて、(仮でもよいので)次の目標を一緒に考える



誓約書

令和 年 月 日

御中

私は、_____ が実施するプログラムにおいて職業体験を実習するにあたり、下記事項を守ることを誓約します。

1. 就業規則及び服務に関する諸規程等を尊重し、職業体験受け入れ先担当者の指導にそって誠実に職業体験に参加することとします。
2. 職業体験の全過程を修了することを旨とし職業体験期間中、無断で欠席致しません。
3. 職業体験期間中、欠席する場合はその旨を職業体験受け入れ先担当者と当団体担当者に必ず連絡をします。
4. 提出書面に虚偽の記載を一切しないこと。
5. 職業体験期間中、住所の異動その他、身上に重大な変動があった場合は直ちに届けでること。
6. 施設への利用に際しては、
 - (1) 職業体験受け入れ先が定める立ち入り禁止区域に立ち入らないこと、
 - (2) 施設を職業体験以外の目的に使用しないこと、
 - (3) その他、職業体験受け入れ先諸規程及び責任者の指示に服すること。
7. 職業体験期間中に知り得たいかなる事項については、職業体験が終了した後、不正使用しないこと。
8. 研修開始前に研修中の災害、事故その他の事由による損害の補償に対応した災害傷害保険および賠償責任保険に加入し、研修中の災害、事故その他の事由による損害は、当該保険により補償を受けるべきことについて了承すること。
9. 職業体験期間中に発生した著作権及び成果物の所有権の一切は、職業体験受け入れ先に原始的に帰属すること。
10. 本誓約書に定めなき事項については、責任者の指示を仰ぎ、その指示に従うこと。
11. 万一、上記事項のいずれか一つにでも違反した場合、職業体験期間中といえども職業体験を中止すること。
12. 上記に関する紛争についての管轄は【仙台地方裁判所】とする。
13. 本誓約書については、秘密保持規程を除き、上記職業体験期間中において有効とすること。
14. 本誓約書に定めのない事項及び本誓約書の運用、解釈に疑義が生じた場合は、法令または慣習に従い協議の上、誠意をもって解決する。

住所

電話番号 _____

メールアドレス _____

職業体験生 氏名 _____ 印

20歳未満の職業体験生は、次の欄も記入

保護者住所 _____ 保護者氏名(自署) _____

連絡のつく電話番号 _____

契約者との関係 _____

印

後援申請書

年 月 日

(宛名) ○○ ○○ 殿

(申請者) 住所及び連絡先
氏名(団体名及び代表者氏名) 印

下記の行事について、○○の後援を申請します。

記

- 1 行事の名称
- 2 行事の趣旨、目的
- 3 行事の概要
- 4 行事の実施日時、実施期間
- 5 行事の実施場所
- 6 希望する後援名義
- 7 (その他決裁責任者が必要と認める事項)

活動体験の実施に関する契約書

（以下「乙」という。）は、以下のとおり契約（以下「本契約」）と（以下「甲」という。）と（以下「甲」という。）とを締結する。

（本契約の目的）

第1条 甲と乙は、プログラム内の一環として、本契約を締結することを相互に確認した。

（定義）

第2条 この契約において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 参加者…プログラムに参加する者をいう。
- (2) 職業体験…プログラムにて、参加者が企業/NPO等で行う職業体験実習をいう。
- (3) 職業体験希望者…職業体験実習を希望する者をいう。
- (4) 職業体験先企業等…現場実習を実施する企業又は団体をいう。
- (5) 職業体験の合意…受講生と現場実習先企業等との間の現場実習の実施に関する合意をいう。
- (6) 実習生…現に職業体験を行っている者をいう。

（参加者の受入れ）

第3条 乙は、甲によるプログラム参加者の職業体験先団体等として、参加者を受け入れることを了解した。

（活動体験先団体等による情報提供）

第4条 乙は、前条の受入れ前に、甲に対し、あらかじめ、乙の事業の目的及び内容その他参加者による職業体験先団体等の選択に資すると認められる正確な情報を提供しなければならない。

（現場実習の合意成立の支援）

第5条 甲は、参加者に対し、前条の規定により乙から提供された情報の提供及び助言をするとともに、乙に対し、職業体験希望者に関する情報（参加者の受け入れの判断に資する情報であって、乙に提供することにつき参加者の同意を得た情報に限る。）の提供及び助言をすることによって、職業体験希望者と乙との間における職業体験の合意の成立を支援するものとする。

（活動体験の合意前の説明）

第6条 乙は、現場実習の合意の成立前に、現場実習希望者に対し、乙の事業の目的及び内容その他次条第2項の事項について、懇切丁寧に説明をしなければならない。

（監督責任者）

第7条 乙は、実習に対する監督責任者を1人以上置かなければならない。

2 前項の監督責任者は、職業体験の実施に関し、実習生への指導又は助言を行なうものとする。

（現場実習の実施）

第8条 乙は、職業体験を実施することが困難になったときは、速やかに、甲に報告しなければならない。

（安全配慮）

第9条 乙は、職業体験の実施に当たって、実習生の安全及び健康の確保に配慮しなければならない。

（労働の禁止）

第10条 乙は、実習生を自らの指揮命令の下に労働させてはならない。

（個人情報保護）

第11条 乙は、参加者の個人情報保護に必要な措置を講じなければならない。

（営業秘密等の保護）

第12条 乙は、職業体験の実施に当たっては、必要に応じて、乙の営業秘密その他の企業秘密の保護に必要な措置を講ずるものとする。

（知的財産権の帰属等）

第13条 乙は、必要に応じて、現場実習の実施上創作される知的財産に関する権利の帰属その他の権利関係について定めておくものとする。（苦情解決）

第14条 乙は、職業体験に関する参加者又は乙の顧客等の第三者からの苦情又は相談又は相談に迅速かつ適切に対応し、乙の責任及び負担において解決するものとする。

（相談、報告等）

第15条 甲は、職業体験の実施に関し、乙の相談に応じ、情報提供又は助言を行なうものとする。

2 乙は、甲の請求があるときは、いつでも職業体験の実施状況を報告しなければならない。

3 乙は、職業体験の実施に係る参加者からの相談に関して甲が行う調査に協力するとともに、甲から助言を受けた場合においては、必要な改善を行うものとする。

（参加者の報告等）

第16条 乙は、職業体験を含めたプログラム実施の結果について参加者が作成した報告書の内容を確認するものとする。

2 乙は、前項の規定により確認した報告書を参加者が甲に提出することに同意する。

3 乙は、第2項の規定により甲に提出された報告書を、「宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業補助金」の実施状況を報告するために宮城県に対し甲が提出することに同意する。

（謝金）

第17条 甲は、乙に対し、職業体験実習の受け入れ及びその準備にあたり、管理費として受け入れ1名につき、一日あたり円を支払うものとする。

（職業体験の手当）

第18条 乙は、実習生に対して下記のとおりの手当を支給するものとする。

インターン手当	円	1時間あたり
	円	1時間あたりの総支給額
	円	源泉徴収税額
	円	差引支給額
	円	支給日

（契約期間）

第19条 本契約の契約期間は、令和 年 月 日から令和 年 月 日までとする。

（契約の解除）

第20条 甲又は乙は、相手方による本契約の違反又は頭書のプログラムの終了その他やむを得ない事由があるときは、前条の契約期間中であっても本契約を解除することができる。この場合において、その事由が甲又は乙の一方の過失によつて生じたものであるときは、相手方に対し損害賠償の責任を負う。

（管轄裁判所）

第21条 甲と乙は、本契約に関する紛争については、仙台地方裁判所を第一審の管轄裁判所とすることを合意した。

（この契約書に定めのない事項）

第22条 この契約書に定めのない事項については、甲乙協議の上、決定する。

上記のとおり契約し、契約書2通を作成の上、甲乙各1通を保有する。

令和 年 月 日

(甲)

(乙)

成果事例

【事例1】 職業体験から就労へ！

なかやま やすこ
中山 保子さん

第4子の妊娠を機に離職した中山さんは、そろそろ働きたいとプログラムへ参加されました。職業体験では、介護事業のぱんぷきん介護センターへ。介護に関わる資格を持っていないなか不安を抱えながらでしたが、受け入れ先となったサービス付き高齢者賃貸住宅の職員さんが丁寧に教えてくれたそうです。

体験中は、職員の方とのコミュニケーションや実務を通して「自分でもできるかもしれない」と実感できたことで、その後、面接に進み4月からの就職が正式に決まりました。数年ぶりの就労となりますが、働き方や子育て中の就労に対して事業所の理解があったことが決め手となったそうです。

介護にかかわる資格を取得できる事業所の制度を活かし、働きながら資格取得も目指したいと意気込まれています。



【事例2】 好きを仕事にするために！

あべ ののか
阿部 紀乃香さん

働きたい気持ちがありつつも人前にでることが苦手なことから前に進めず相談にきたことがきっかけでした。もともと子どもと接するのが好きで、職業体験はNPOが運営する放課後こどもクラブで支援員として働きました。

子どもと触れ合ううちにやりがいや手応えを感じ、体験を通してやりたいことが明確になり目標が定まったそうです。体験終了後もインターンシップに入ったこどもクラブで手伝いを続けています。今後の目標は仕事をしながら経験を重ね、学童保育で働くための放課後児童支援員の資格取得をすることです。



スタッフの声



“green”プログラム修了おめでとうございます。忙しく過ごしている日々が、女性として、妻として、母として皆さんを強く、優しく輝かせているんだと思いました。みなさんとの出会いでとても多くの気づきを得ることができ、スタッフとして関わることがとてもうれしいです。そして、皆さんのこの新たな一歩が、豊かな実りある日々につながりますようお願いしております。



“green”プログラム修了おめでとうございます。子育てをしながら働くことは、大変なこともあるかもしれませんが、あの時頑張ったよかったなと思えるように日々を大切に過ごしていただけたらうれしいです。スタッフとして関わらせていただき、頑張る力をいただきました。本当にありがとうございます。



“green”プログラム修了おめでとうございます！子育てをしながら働くことは、大変なこともありますが、だからこそ一人で頑張りすぎず、まわりの方の手をどんどん借りてほしいと思います。ここでの経験を糧に自信をもって、仕事も子育ても楽しんでほしいと思います。これからの活躍を祈念しています。



“green”プログラムを修了されたみなさん、おめでとうございます。このプログラムを通して、皆さんが新しい第一歩を踏み出されたこと、とても頼もしく感じます。小さな子を育てながら仕事をする、ということは、大変な事も増えますがそれ以上に自分も子ども大きく成長出来る貴重な機会となります。ぜひ、このプログラムで経験したことに自信を持ち、さらなる一歩を踏み出していただければと思います。



やっぺす!女性活躍支援プログラム“green”活動報告書

発行日 2020年3月22日
制作・発行 特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク
〒986-0806 石巻市開北3丁目1-8
電話 0225-23-8588
Eメール info@yappesu.jp
HP <http://yappesu.jp/>

表紙イラスト・挿絵 鈴木おり絵
印刷・製本 萩の郷福祉工場